

# 2026年度薬学科プレ特別実習について

## 1. 概要

研究者として必要な知識と技能をより深く学び、効率的に研究を遂行できるようになることを目指す学生を対象として、希望する研究室において、プレ特別実習を実施する。

## 2. 対象学生

2026年度薬学科3年生

## 3. 期間

3年生：2026年12月～2027年5月

○プレ特別実習の詳細な実施期間は、各研究室責任者と相談の上、決定する。

## 4. 受入研究室

○原則として、相模原・北本キャンパスの研究室、白金キャンパスの臨床系研究室（地域医療薬学、薬物治療学Ⅲ、臨床薬学教育部門、臨床薬学研究部門）を除いた研究室とする。

○受入可能人数は、研究室毎に決定する。

## 5. 手続き方法

プレ特別実習を希望する研究室の責任者の承諾を得た後、「プレ特別実習申請書」を教務課に提出する。

## 6. プレ特別枠による配属について

4年次薬学卒業特別実習教室配属時において、プレ特別実習を受講していた学生が当該教室の配属を希望し、且つ、当該教室が受入れを認めた場合、プレ特別実習枠より配属を決定する。

※プレ特別実習枠（基礎系研究室）

0～5名（少人数の教室においては、受入れ人数の1/3以内とする。）

# 2026 年度生命創薬科学科プレ特別実習について

## 1. 概 要

研究者として必要な知識と技能をより深く学び、効率的に研究を遂行できるようになることを目指す学生を対象に、受講を希望する教室においてプレ特別実習を実施する。

## 2. 対象学生

2026 年度生命創薬科学科 2 年生

## 3. 期 間

- ・「生命創薬科学Ⅱ」終了後（12 月上旬）～教室配属決定時
- ・プレ特別実習の詳細な実施期間は、各教室責任者と相談の上、決定する。

## 4. 受入教室

- ・生命創薬科学科卒業特別実習生の配属教室とする。
- ・受入可能人数は教室単位で決定する。

## 5. 手続き方法

プレ特別実習を希望する学生は、当該教室責任者と面談を行い、受講が認められた場合「プレ特別実習申請書」を教務課に提出する。

## 6. プレ特別実習による優先枠配属について

当該教室責任者が、受講生の研究に取り組む姿勢等から当該教室の卒業特別実習生として相応しいと判断し、受講生も当該教室の配属を希望した場合、プレ特別実習優先枠として配属を決定する。

※プレ特別実習優先枠：1～2 名（3 年次 8 月下旬までに決定）